

豊明市新エネルギー推進計画  
【資料編】



## 豊明市の地域特性

### 【まとめ】

- 肥沃な土地と温暖な気候から農業に適した地域であり、宅地のほかに農用地が市域の多くを占めている。
- 北部から南部に向かって緩やかに傾斜した土地で、安定した日射量・日照時間が確保されている。
- 人口は微減、世帯数は微増を示しており、世帯人数1人あたりのエネルギー消費量が大きい世帯が増えている。
- 一戸建て、持家の割合が高く、住宅での創エネルギー・省エネルギーに取り組みやすい。
- 市域の一部ではあるものの、生ごみの分別収集に取り組んでいる。

### 自然的特性

#### ① 位置・地勢

- 豊明市は、愛知県の中央よりやや西部に位置し、東は境川を隔てて刈谷市、北は東郷町、西は名古屋市、南は大府市に接している。
- 面積は23.18km<sup>2</sup>、周囲27kmで地形は台地と低地からなり、一帯の土地は北部の標高72mを最高に南に向かって緩やかに傾斜し、全市平野部を形成している。土地は肥沃で、温暖な気候に恵まれているため農業に適しているが、近年ではその自然にあふれた環境の良さから宅地化が進み、きれいな街なみの住宅地として整備されている。

#### ■豊明市の位置・地勢

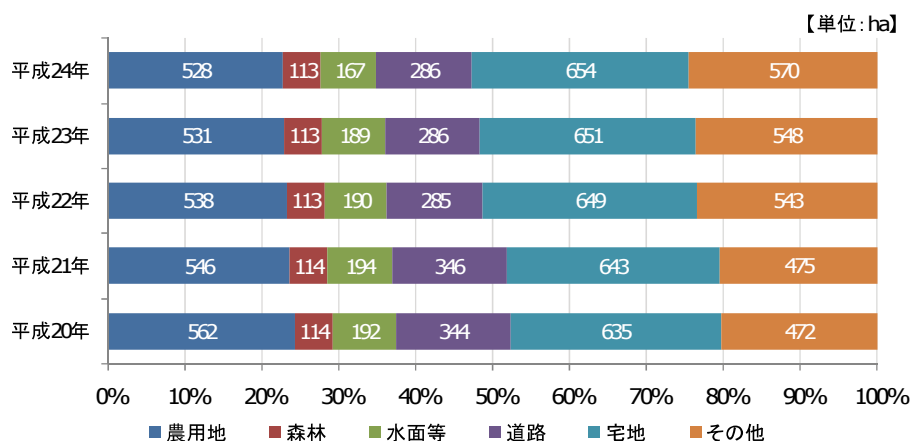
東経	北緯	東西最長	南北最長	平均標高	総面積
136°58′~137°03′	35°01′~35°06′	6.53km	7.65km	15m	23.18km <sup>2</sup>

出典：とよあけの統計 2012年版（豊明市）

#### ② 土地利用

- 豊明市の総面積は、平成24年現在2,318haある。
- 農用地は528ha(22.8%)を占めているが、年々減少傾向にある。その一方で、宅地は654ha(28.2%)を占めており、近年では増加傾向にあることから、農用地での宅地開発が進んでいることが考えられる。

#### ■豊明市の土地利用の変遷



出典：愛知県 土地に関する統計年報（愛知県）

### ③ 気象

#### 【気温・降水量】

○日平均気温は、8月に28.6℃と最も高く、1月に4.8℃と最も低くなっている。なお、最高気温は37.0℃、最低気温は-3.0℃となっている。

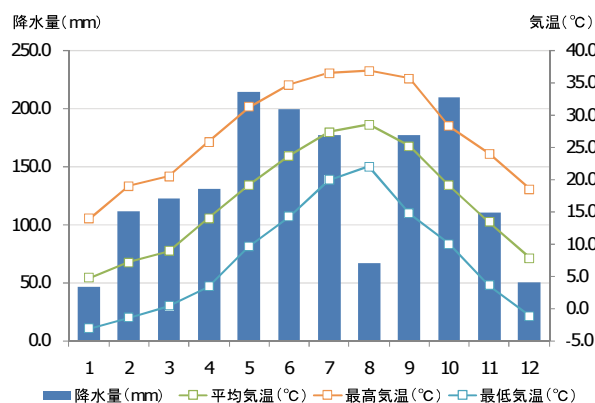
○月間降雨量は、雨期(5月～6月)及び秋季(10月)に約200mmと多くなっている。

#### 【日照状況】

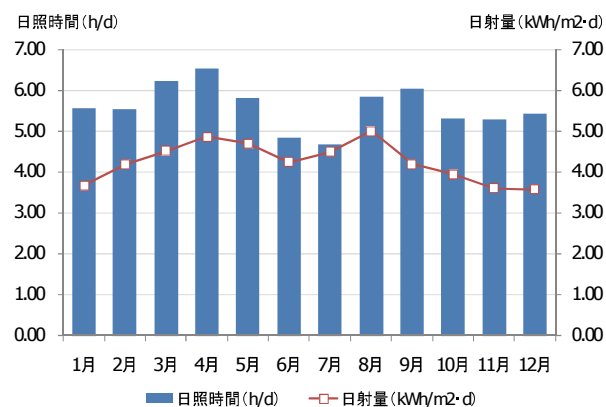
○1日の日照時間は、4月に6.53h/dと最も長く、6月に4.85h/dと最も短くなっている。

○年間最適傾斜角における日射量は、8月に5.00kWh/m<sup>2</sup>・dと最も大きく、12月に3.57kWh/m<sup>2</sup>・dと最も小さくなっている。

■ 気温・降水量 (東海地方気象観測所)



■ 日照時間及び日射量 (東海地方気象観測所)



出典：気象統計情報（気象庁）、年間月別日射量データベース MONSOLA-11（NEDO）

#### 【風況】

○豊明市内の風況は、地上高30mで4.0～4.5m/s、地上高50mで4.5～5.0m/sであり、地上高70mになると市域南部をはじめとして一部で5.0m/sを超える地域が見られる。

#### ■ 豊明市における風況マップ



[地上高 30m]

[地上高 50m]

[地上高 70m]

出典：局所風況マップ（NEDO）

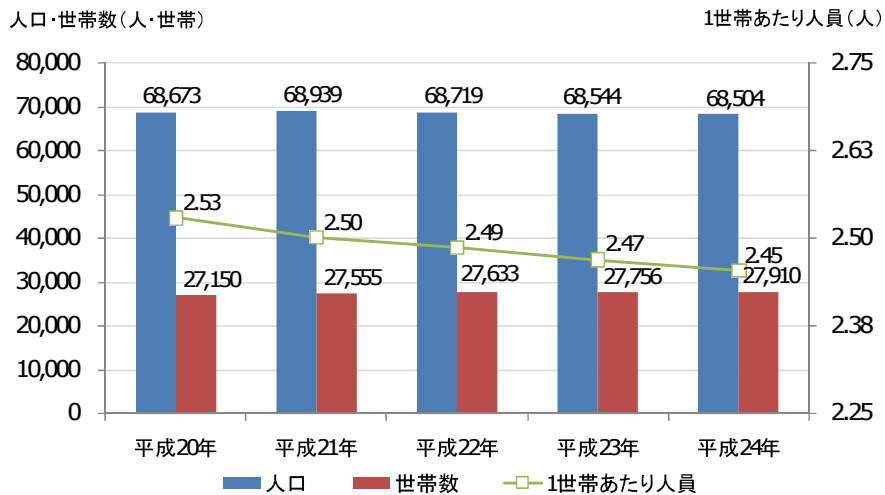
社会的特性

① 人口・世帯数

○豊明市の人口は、平成 25 年 8 月 1 日現在で 68,522 人であり、近年では微減傾向を示している。

○世帯数は緩やかな増加傾向を示しており、それに伴い 1 世帯あたり人員は減少傾向を示している。

■人口・世帯数及び 1 世帯あたり人員の推移



出典：豊明市「とよあけの統計 2012 年版」

② 建築物

○平成 20 年度の住宅数は 25,180 戸であり、そのうち約 6 割が一戸建てになる。所有形態別にみると、持家が全体の約 6 割となる 15,350 戸であり、残りが借家になる。

■豊明市の住宅数

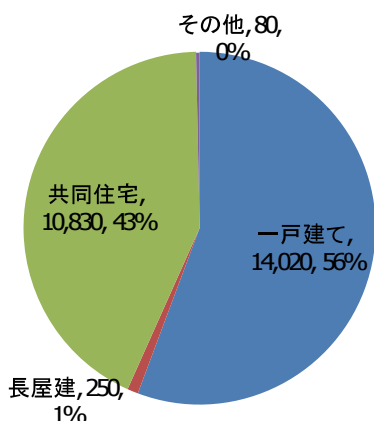
	住宅総数	一戸建て	長屋建	共同住宅	その他
平成 15 年度	22,030	12,390	460	9,180	0
平成 20 年度	25,180	14,020	250	10,830	80

■豊明市の所有形態別住宅数

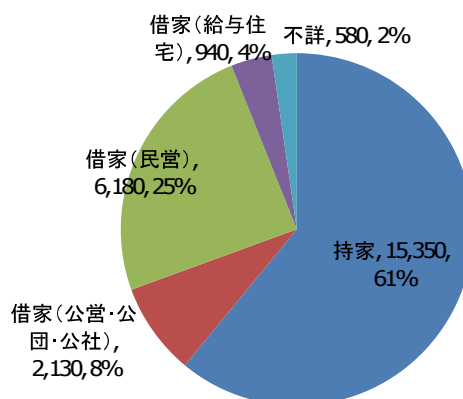
	住宅総数	持家	借家				不詳
			公営・公団・公社	民営	給与住宅	小計	
平成 15 年度	22,030	13,380	2,190	5,420	360	7,970	680
平成 20 年度	25,180	15,350	2,130	6,180	940	9,250	580

出典：住宅土地統計調査

■建て方別住宅数



■所有形態別住宅数



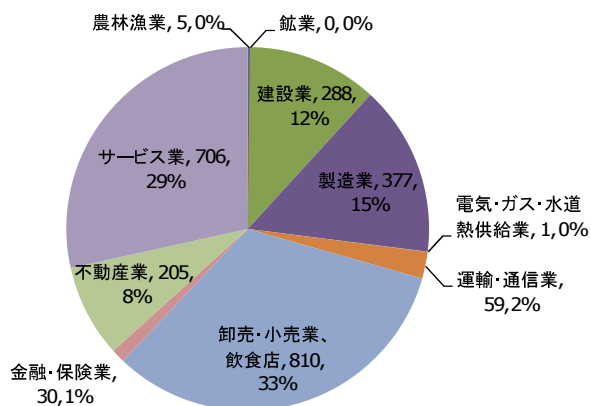
### ③ 産業構造と経済

○豊明市の平成 21 年度における事業所数は 2,481 事業所で、従業者数は 26,555 人となっている。

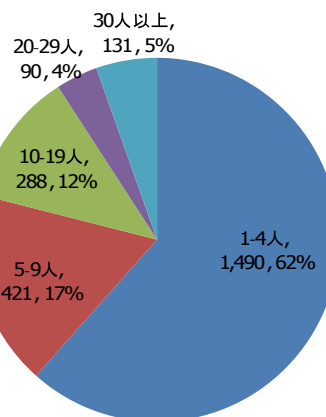
○事業所の産業分類では、卸売・小売業、飲食店が 810 事業所で全体の 33%を占めている。次いで、サービス業が 706 事業所で 29%を占めている。

○従業者規模別の事業所数では、従業者数 1-4 人の小規模な事業者が全体の 6 割以上を占めており、30 人以上の比較的大規模な事業所は 131 事業所で全体の 5%となっている。

■事業所の産業分類



■従業者規模別事業所数



出典：事業所・企業統計調査

### ④ 環境衛生

○平成 24 年のごみ収集状況は、全体で 16,842.86t である。

○内訳としては、燃えるごみが 11,392.62t で全体の約 68%、資源ごみが 4,878.03t で全体の約 29%を占めている。

○豊明市では、生ごみから堆肥をつくり、その堆肥を土壌へ戻して農産物を生産・消費する有機循環都市を目指している。平成 10 年度より生ごみの分別収集を始め、三崎区、ゆたか台区、坂部区、前後区、西川区、吉池区、中島区等で取り組まれ、平成 24 年度では 290.80t が分別収集されている。

■ごみ収集状況

単位：t

		平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年
燃えるごみ		11,731.00	11,436.41	11,336.24	11,360.07	11,392.62
燃えないごみ		533.00	515.80	497.99	499.64	500.13
粗大ごみ		98.30	88.09	74.83	75.70	72.08
資源ごみ	紙・布類	4,032.20	3,755.64	3,600.40	3,337.06	3,189.49
	金属類	190.90	185.70	181.82	177.29	176.69
	ビン類	526.40	540.43	504.46	461.21	435.89
	廃乾電池	25.70	27.11	24.96	18.43	17.32
	PET ボトル	151.60	153.37	152.68	141.36	134.19
	プラスチック製容器包装	780.60	747.86	738.34	732.63	716.24
	紙製容器包装	237.50	231.05	216.12	203.50	189.19
合計		18,307.20	17,681.46	17,327.84	17,006.89	16,842.86

■し尿収集状況

単位：kl

		平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年
し尿		589.80	622.60	736.90	820.90	692.60

■生ごみ収集状況

単位：t

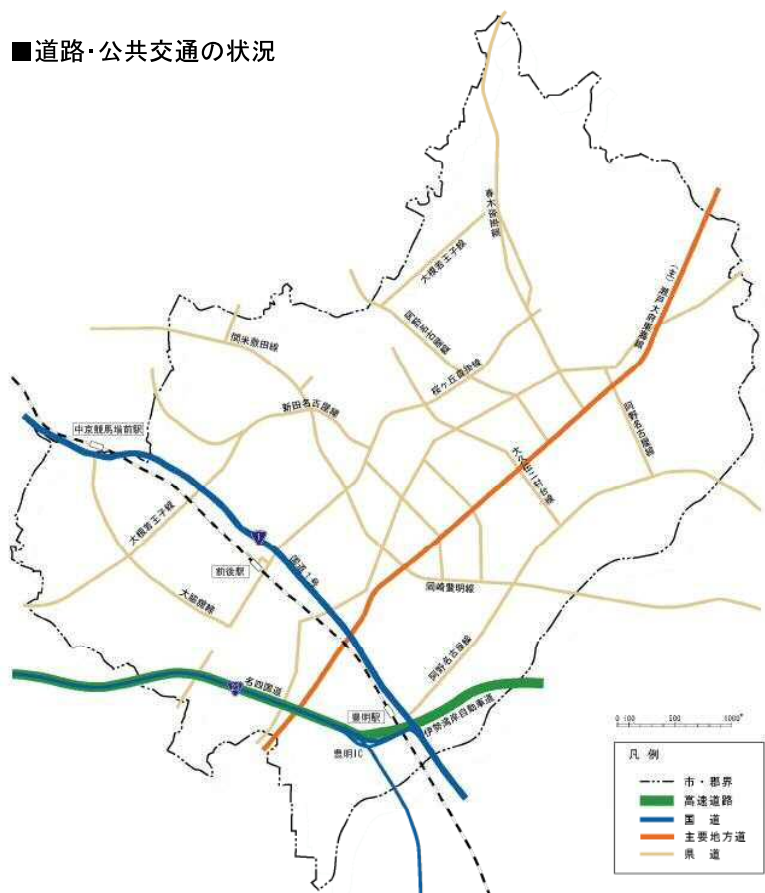
		平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年
生ごみ		329.20	368.90	305.20	298.10	290.80

出典：とよあけの統計 2012 年版(豊明市)

⑤ 交通

- 市の南部に東西方向に国道 1 号、国道 23 号が主要都市間を結ぶ幹線道路として走っており、伊勢湾岸自動車道が市南部を東西方向に整備が進められ、市内の全線で開通している。
- 名古屋岡崎線も一部で供用を開始しており、前後駅の混雑を解消するため、桜ヶ丘沓掛線の整備も進められている。
- 公共交通では、名鉄名古屋本線が市南部を横断しており、西から中京競馬場前駅、前後駅、豊明駅が設置されている。
- 名鉄バスが前後駅を起点に 6 路線で運行されるとともに、市による公共施設巡回バス(コミュニティバス)として「ひまわりバス」が 3 台で運行している。

■道路・公共交通の状況

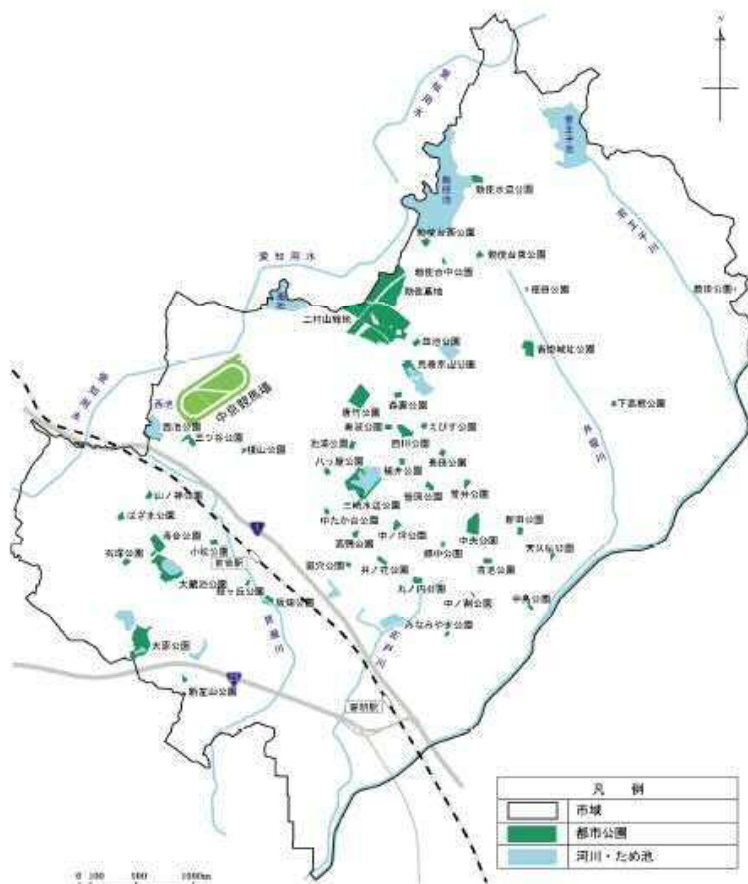


出典：第 2 次豊明市都市マスタープラン(豊明市)

⑥ 公園・緑地

- 平成 24 年 4 月 1 日現在、都市公園が 50 箇所(街区公園 40 箇所、近隣公園 6 箇所、特殊公園 3 箇所、墓園 1 箇所)開設され、総面積 308,626m<sup>2</sup>となっている。
- 市民一人あたりの都市公園面積は 4.41m<sup>2</sup> で、愛知県の都市公園(平成 23 年 3 月 31 日現在)の一人あたり都市公園面積である 7.36m<sup>2</sup> と比べて少なくなっている。
- その他、児童遊園地 17 箇所、ちびっ子広場 6 箇所が設置されている。

■公園緑地の状況



出典：第 2 次豊明市都市マスタープラン(豊明市)

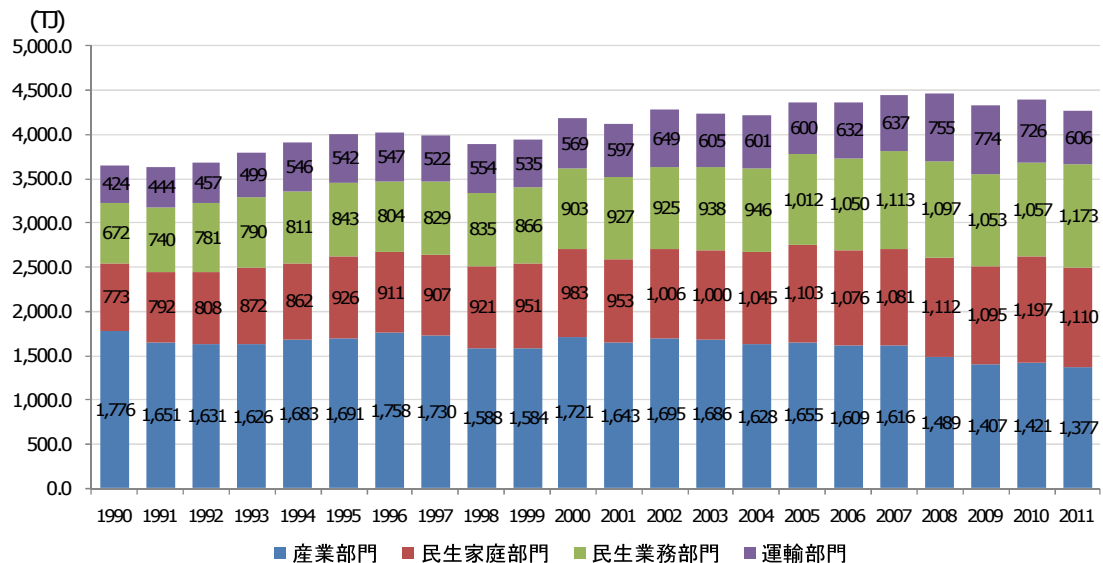


## 部門別のエネルギー消費量

○1990年以降のエネルギー消費量をみると、全体では1990年の3,645TJから2011年の4,266TJと、緩やかな増加傾向を示している。

○2011年の部門別のエネルギー消費量は、産業部門で1,377TJ（1990年比：約29%減）、民生家庭部門で1,110TJ（約30%増）、民生業務部門で1,173TJ（約43%増）、運輸部門で606TJ（約30%増）となっており、民生部門での増加が著しい。

### ■豊明市の部門別エネルギー消費量（推計結果）



※豊明市の部門別エネルギー消費量は、経済産業省「都道府県別エネルギー消費統計」における愛知県データを、同省「市町村別エネルギー消費統計作成のためのガイドライン」の考え方にに基づき、各種統計データを用いて推計したものである。

- ・経済産業省「工業統計調査（市町村別製造品出荷額）」
- ・総務省「国勢調査（市町村別人口・世帯数）」
- ・国土交通省「港湾調査（市町村別自動車保有台数）」

なお、推計（按分）に用いる統計資料が各年で整理されておらず、推計にあたっては、各統計資料の最新のデータを用いて整理した。また、民生業務部門については、事業所の延床面積に関するデータが手に入らなかったため、事業所数のデータを用いて整理を行っている。